



水田の初中期一発除草剤エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメットの有効性と使用上の注意

新しい水田の初中期一発除草剤として、エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメット剤などがあります。

これらの除草剤は、一年生雑草を始めとしてウリカワなど多年生雑草にも有効で、各種の雑草に長い残効（イネ科雑草を除く）があり、さらに、SU剤抵抗性雑草のホタルイなど難防除の雑草にも卓効した有効性が認められています。

これらの特徴を生かし、使用上の注意点に気を付けて、効果的で安全な使用に努めてください。

1 エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメットの特徴

- 1) 有効成分が2成分（コメットは3成分）で、特別栽培など農薬成分数を減らしたい地域に導入が可能です。
- 2) 雜草の発生期間が長い地域では、初期剤との体系防除で長い抑草効果を發揮いたします。
- 3) クログワイなど多年生雑草の多い地域では、クログワイに効果の高い剤（フォローアップ1キロ粒剤、サンパンチ1キロ粒剤）などとの体系防除でも、有効成分数は少なくて済みます。

2 使用上の注意点

1) 処理時期

除草効果を安定させるためには、移植7~10日後（雑草発生後）の処理が有効です。5月以降の田植えの場合は、移植7日後～ノビエ2.5葉期頃までに処理してください。やや遅めの散布時期を推奨していますが、除草効果が発揮できる限界の葉齢を超えないよう十分注意してください。

2) 砂壌土、漏水田、強還元田などで、浅植え、低温・活着不良、軟弱苗などが重なると、生育の抑制や白化症状が発生する場合がありますので注意が必要です。なお、白化症状に関しては、薬剤が大量に稻体に付着したり、局所的に薬液の水中濃度が高くなる場合に発生することがあり、主食用の栽培品種では伸展してくる新葉1~2枚に現われる場合がありますが、その後は正常葉が伸展し、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。

白化症状の軽減策としては、処理時にのみ湛水深を茎葉基部がかかる程度に深めにしておきましょう。

ただし、飼料用稻（WCS）の「モミロマン」「ミズホチカラ」、「タカナリ」など一部の品種で、症状がひどく枯死するほどの影響が生じる場合がありますので、これら品種には使用を避けてください。

表1 水稲除草剤エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメットの各剤型における登録内容（平成27年4月27日現在）

薬剤名	使用量／10a (散布液量／10a)	使用方法	使用時期—使用回数	水田 一年生 雑草	マツバ バイ	ホタル イ	ウリカ ワ	ミズモ ダカ	オグ ワ	クロ グ	セリ	ヒルム シロ		
エーワン1キロ粒剤	1 kg	湛水散布	移植後5日（ゲットスター、コメットは移植直後※）～ノビエ2.5葉期（エーワン※※とボデーガードは3葉期）まで（ただし移植後30日まで・エーワンは収穫45日前まで）－1回	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ゲットスター1キロ粒剤				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ボデーガード1キロ粒剤				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コメット1キロ粒剤				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エーワンフロアブル	500ml	原液湛水散布または水口施用	移植後5日～ノビエ2.5葉期（エーワンとボデーガードは3葉期）まで（ただし移植後30日まで）－1回	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ゲットスターフロアブル				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ボデーガードフロアブル		原液湛水散布		●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コメットフロアブル				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ゲットスター顆粒	湛水散布（水500mlに80gを希釈）、 顆粒水口施用（80g）	小包装パック 10個（300g）	移植後5日～ノビエ2.5葉期まで（エーワンは3葉期※※）（ただし移植後30日まで）－1回	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コメット顆粒				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エーワンジャンボ				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ゲットスタージャンボ				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コメットジャンボ	10個（400g）			●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ボデーガードジャンボ				●	●	●	●	●	●	●	●	●		

注1) ※印のゲットスター及びコメットの1キロ粒剤またはコメット顆粒は、水田が砂壌土の場合には移植後5日～ノビエ2.5葉期までの登録です。

注2) ※※印のエーワン1キロ粒剤及びジャンボの使用時期は、水田が砂壌土の場合には移植後5日～ノビエ2.5葉期まで、壤土～埴土では移植後5日～ノビエ3葉期までの登録です。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040